

港区議会議員

区民相談は  
お気軽に!

## 池田たけしNEWS

一人のために、地域のために

発行所：〒107-0052 港区赤坂6-7-14-608 TEL&FAX：03-6230-9441  
発行日：2026年1月19日 URL：https://ikeda-takeshi.net

## 港区議会 公明党 共通実績

## 子ども1人3万円分!

## みなトクPAYポイント支給が実現

港区は、0～18歳の子どもの1人あたり3万円分の「みなトクPAY」ポイントを支給する支援策を発表しました(2025年12月から申請のお知らせを配布開始予定)。

これは、港区議会公明党が令和7年度予算要望で強く訴えてきた「子育て世帯への物価高対策」が実を結んだものです。進学・進級などで家計負担が増える時期に、区独自の地域通貨で家計をサポートいたします。

小児インフルエンザワクチン助成に、  
経鼻ワクチンが追加

2025年8月、都議会公明党の推進で、東京都の補助金の対象に、経鼻ワクチンの追加が報告されました。

それを踏まえ、港区議会公明党は同月、清家・港区長に対して、港区の小児のインフルエンザワクチン助成について、経鼻ワクチンも対象とするよう緊急要望。

その結果、2025年10月の接種分から、経鼻ワクチンにも対象が拡充されました(対象年齢は、2歳以上高校3年生相当年齢まで)!

注射と同じ、1回4500円助成で、必要な接種回数は経鼻ワクチンは1回のみ。

注射が苦手なワクチン接種できない子供もいますので、ワクチンによる病気の予防の促進が期待できます。



## 「みなトクPAY」真冬のポイント大還元祭など

長引く物価高騰で区民生活や商店の経営環境が依然として厳しい状況の中、港区商店街連合会は2026年2月に予定の「みなトクPAY」を用いたポイント還元キャンペーンを1か月前倒しての大還元祭を実施します。キャンペーン期間中に「みなトクPAY」マネーで決済した場合、以下の割合でポイントを還元します。

・実施期間：2026年1月1日から2月28日まで

1月～2月のキャンペーン		
利用店舗	ポイント還元率	還元上限/人・月
中小個店	25%	1万円分
大型店舗	20%	5千円分

「1ポイント=1円」として、各店舗で利用可能です。

満額利用した場合、最大3万円分(1万5千円×二月)のポイント還元となります。また2026年3月から8月の期間に使える「みなトクPAY」ポイント1万円分付与も実施。紙の商品券は5月から10月の期間での実施となります。



アプリダウンロードはこちら!



App Store



Google Play

## エンディングプラン登録事業開始

港区は、2025年10月1日から「エンディングプラン登録事業」を開始。緊急連絡先やかかりつけ医、エンディングノートの保管場所など、人生の最期に関わる大切な情報をあらかじめ区に登録し、増加する単身・身寄りのない高齢者に「もしもの時」への不安を解消し、安心した生活を送っていただくための制度です。

公明党議員団はこれまでも、人生の最期を迎えるにあたり、誰もが個人の尊厳を保ちながら安心して過ごせるよう、終活支援の充実を要望してまいりました。



## 多様な地域ニーズに応える カナルサイド高浜が竣工

地域の多様なニーズなどに応える、区民向け住宅、私立認可保育園、福祉施設などの複合施設『港区立カナルサイド高浜』が、芝浦4丁目に2025年10月竣工しました。

「グッドライフケア芝浦高浜」は、芝浦港南地区では初の小規模多機能型居宅介護施設で、お台場地域にも訪問介護・看護も行う予定です。看取り専用部屋も用意され、在宅療養中に、自宅で独り亡くなるのは心配な人が、いざという時にスタッフに見守られ看取ってもらえるのは、安心につながります。

「障害者グループホーム高浜」は、知的障がい者向けの入所施設です。以前から、入所を心待ちにする近隣の親御さんも大変多かったです。

港区議会公明党は、毎年の予算要望などで、高齢者の小規模多機能施設や障がい者グループホームの整備を訴え続けてまいりました。

引き続き、誰もが安心して住み続けられる施設整備に取り組んでまいります。



## 公明の訴えで区内に高齢者施設を設置

高齢化社会の中、区議会公明党は令和5年度決算特別委員会などで、まだまだ足りない高齢者施設の設置と充足を求めてきました。

その結果2025年4月、南青山2丁目に障害者グループホームなどを併設し、「通い・泊り・訪問」に対応する小規模多機能型居宅介護施設「青山ふれ愛テラス」がオープン。

また2025年10月には南青山1丁目に定員29名の特別養護老人ホームを含む複合施設「青山スクウェア」が開設されました。

今後、区は南麻布の公有地を取得し、その地に高齢者施設の設置を進める予定です。

引き続き機会を捉え、区の高齢者施設の充実と高齢化社会への対応を訴えてまいります。



## スペシャルニーズアシスタントが 全区立学校に配置決定

区議会公明党はこれまで、区立小中学校に通う支援の必要な児童・生徒の学習意欲向上のため、支援の充実を訴え、令和5年度決算特別委員会では、巡回指導にあたる学校運営支援講師の増員を求めてきました。

その結果、令和7年4月から、全区立小中学校において、スペシャルニーズアシスタントが配置され、その対象者も発達障害がある児童生徒に限らず、友達とトラブルを起こしてしまうなど学校生活に困難さを持つ児童生徒にも拡大され、支援の充実が図られました。



## 港区版ふるさと納税 「体験型返礼品」の提供を開始

港区のふるさと納税では、さらなるシティプロモーションを推進するため物品の贈答ではない宿泊、飲食、サービス等を現地で堪能する「体験型返礼品」を開始しました。

区議会公明ではふるさと納税での地域活性と共に、体験で港区を知り、区の考えや施策への理解を深め、訪れる街から住みたい街、移住先として選ばれる街へ、と区の魅力そのものを宣揚するプロモーションを行うべきと訴えてきました。



※「体験型返礼品」は港区民の方は対象ではありません。

## 幼稚園・保育園の熱中症対策について

区議会公明党は令和7年度の予算要望等において、熱中症対策の整備を訴えてまいりました。この度、東京都の補助金を活用し、保育所等において、日除け用品や送風機器などの熱中症対策物品の整備予算が出ることになりました。また、幼稚園についても、都補助を活用し対応されます。

猛暑が常態化する中、子どもの安全確保に向けた取組は不可欠です。これからも、子どもたちの安全・安心に向けて要望してまいります。

